



長谷寺かわら版

# 百目紅

89号

2014 (平成26) 年  
8月1日

## 仏たちの誕生

86・87号と2回にわたつ

て、仏像の話をしました。

仏像と呼ばれるものは、

どの仏たちも、実際に人間

として生き、教えを説い

た、釈迦をモデルとしたも

のでした。しかし釈迦をモ

デルとしたといつても、仏

像が作られたのは、釈迦が

亡くなって50年以上も後の

こと。釈迦がどんな顔をし

ていたかなんて誰も知りま

せん。ですから仏像の顔は、

実際の釈迦その人とは似て

も似つかないものでした。

そんな仏像を、人々はなぜ

拜むようになったのか、ま

たなぜ拜むことができたの

か。そんな話でした。

### ★釈迦の仏教

ところで仏教は、キ

リスト教、イスラム教

と並び、民族の壁を越

えた「世界宗教」のひ

とつとされています。

このみつつを三大宗

教と呼ぶこともあり

ます。

このうち、キリスト教と  
イスラム教は、天地を創造  
したとされる、唯一の絶対  
神への信仰です。

しかし仏教では、そうい

う神は想定していません。

そういう神が、いないとい

うのではなく、仏教はそう

いうことを問題にする宗教

ではないということでは

天地自然は、すでにあるも

のとして受け入れます。

仏教は本来、何か(誰か)

の力に頼って救ってもらお

う、願いを叶えてもらおう

という教えではなく、釈迦

の教えに従って修行を積

み、自らの力で悟りを得よ

うというものです。その悟

りの目で世界と自分を見つ

め、正しい生き方をしよう

というのが、もともとの仏

教の教えです。

そこには、絶対的、超越

的な存在もいなければ、奇

跡も起こりません。むしろ

絶対的な力を持つていた神  
から、人々を解放したのが  
仏教、といえるのかもしれ  
ません。

### ★観音さんって誰？

釈迦が教えを説いたの

は、いまから2500年も昔のこ

とです。仏教は、この長い

時間の中で、大きく発展し、

また変貌をとげました。

例えば、長谷寺の本尊

は十一面観世音菩薩です

が、釈迦の教えのどこを探

しても見当たらない仏さん

です。なにしろ生まれたの

は、釈迦の死から500年以上

も経ってからのことといわ

れています。なんとお釈迦

さんは、観音さんのことを

ご存じないわけです。

しかしわれらが観音さん

以外にも、仏教では多くの

仏や菩薩が拜まれていま

す。また真言宗では、明王

や天(例えば、うちにもお

わす、不動明王や毘沙門天)

と呼ばれる独特の仏たちも  
信仰の対象です。

そして彼らは、人間では

ない仏たちで、「神」と呼

ばれるものにも似た、超越

的存在です。その力に頼れ

ば、悪を退治し、命さえ救っ

てくれる、スーパーパワー

を持っています。

それどころか、例えば観

音さんの中には、モデルで

ある釈迦の姿、つまり人間

の姿さえしていない方もお

られます。うちの観音さん

は、11もの顔を持っていま

すし、さらにその上に100本

の手(というより腕)まで

持った観音さんさえいては

りません。千手観音です。

千手観音の100本の腕の全て

の手の平には、目が付いて

います。だから正式には、

十一面千手千眼観音とい

います。その姿はまさにモ

ンスターです。

これらの仏たちは、その



長谷寺の大日如来 御開帳は12年に1度

姿かたちだけではなく、釈迦の説いた仏教本来の教えとも、ひどくかけ離れた存在といえます。

スーパーパワーを持った、神とも呼べるような私たちへの信仰。キリスト教やイスラム教のような唯一絶対の神ではないにしろ、仏教もそういう宗教に変貌したわけです。

変貌したからこそ、多くの信仰を集め、世界宗教に発展したという側面も、きつとあるのでしよう。もともと釈迦の教えの中にはなかった、いなかったはずの多くの仏たちは、どうして生まれてきたのか。今回はそんな話をします。

### ☆神格化

釈迦は、その死後、他の宗教の創始者、キリストやマホメットたちと同じように、あがめられ、次第に神

格化されていきます。

頭頂の肉が大きく盛り上がっていたり（肉髻）、眉間に光る白毛が生えていたり（白毫）、あるいは足の裏に不思議な装飾のある輪の模様があるなど、釈迦は私たちと同じ人間とは、とても思えないような特徴をもつとされるのは、その神格化の表れといえます。

そして釈迦はそういう偉大な存在だったからこそ、彼の説いた教え、獲得した悟りは、永遠不変の真理であり、しかもそれは容易に獲得しえないものだと考えられるようになります。これまでここでは、人間として生まれたという意味で、釈迦と呼んできましたが、神格化され人間を超えた宗教的存在となった釈迦を、これからは仏と呼ぶことにします。他の仏たちと区別する場合は、釈迦仏と

呼ぶこともあります。仏と同じ意味の言葉に如来がありますが、ここでは仏という表現に統一します。

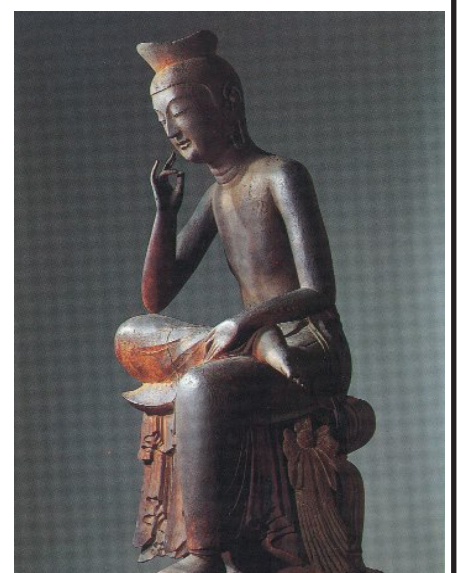
### ☆過去仏たち

さて、悟りというものが容易に獲得できないものとしたら、悟りを求める修行者たちにとって、これほど絶望的な話はありません。しかも、教えを乞うべき釈迦は、もうこの世にはいません。彼らは、釈迦のいない、「無仏の時代」を生きなければならぬわけ

です。しかし一方で、釈迦の悟ったものが、永遠不変の真理だとしたら、その真理は釈迦ひとりのものでなく、釈迦の外部にあるもので、釈迦は修行を通じてそれを獲得しただけということになります。

とすれば、釈迦が悟りを得る以前にも、その真理を

獲得した人が、いてもいはずだし、実際にいたのではないかと考えるのは当然です。



京都は太秦 広隆寺の弥勒菩薩

ここに過去仏という考え方が生まれ得て仏になった人たちがいた。そして、釈迦は七番目に悟りを得た仏である。これが過去七仏と呼ばれるもので、毘婆尸仏とか、尸棄

仏など、ちゃんと名前もあります。七というのが、いかにもありがたげな数ですね。西洋の神は7日間で世界を創造し、釈迦は生まれてすぐ7歩あるいた。死者の魂が新しい肉体を持って生まれ変わるといって四十九日も、7日に7を掛け合わせた数です。このように、7は古

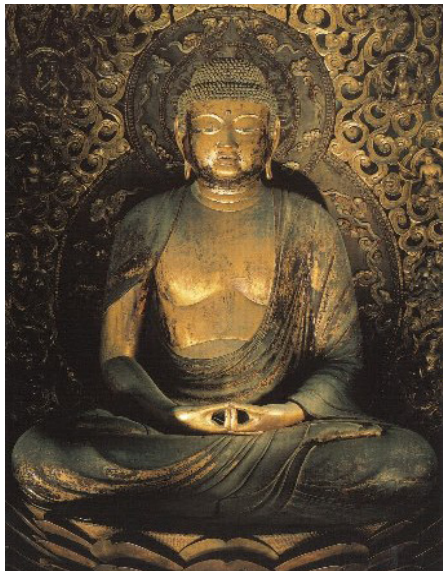
来から、洋の東西を問わず、聖なる数と考えられてきました。

### ☆未来仏

過去に仏がいたのなら、未来にも悟りを得る仏が現れるはずで。こうして未来仏である弥勒菩薩が生まれます。この弥勒菩薩が悟りを得て、弥勒仏にパージョンアップして私たちの世界に生まれ変わり、衆生を救うとされています。

ただ、弥勒菩薩が仏として現れる未来は、なんと釈迦の滅後56億7000万年の後とされています。なにしろ、釈迦が亡くなってまだわ





改修なった平等院鳳凰堂の阿弥陀仏

ずか2500年しか経っていません。気の遠くなるような未来の話です。

間なのかは、あまり問題ではなかったのではないかと思えます。

彌勒仏の出現を、なぜこんなに途方もない先のことにしてしまったのかと、罰当たりのぼくは思っています。彌勒の救いは、「ない」と言っているようなもの

積迦が獲得した悟りは、積迦でなくても獲得できる。けれど、それには途方もない時間の修行が必要である。そういうことの表現だったのでしよう。

この途方もない長さの時間には、それなりの根拠があるようですが、いずれにしろ「567」という並びの数字に、億とか万とか千とか、とにかく大きそうな数の文字を付けただけで、実際にどれだけの長さの時

間は、まだ悟りを得ていないから、仏ではなく菩薩と呼ばれますが、この話は次号でいたします。ちなみにこの彌勒菩薩がいま、仏になるための最後の修行をし、教えを説

で彌勒菩薩に会って、救われますように、成仏できませう。すようにという意味でし

えを説いているかもしれない。そういう世界があつてほしいし、きつとあるに違

時代などありえないわけですが、いまも生きて教えを聞くことはできません。過去や未来の仏から直に

しかし、はるかな過去や、遠い未来に仏がいても、残念ながら今の自分たちを教え導いてくれるわけではありませ

ここで生み出されたのが「十方世界」とか「三千大千世界」と呼ばれるもので、

それが別の世界のことでも、その仏に会い、教えを聞く、そういう方法があるだろうと考えました。

彌勒が死に、彌勒はまだ現れていない、無仏の時代、闇の時代には違いないわけ

外に、多くの異なった世界があり、その世界ではいまも仏が教えを説いていると

では、その別の世界にいるという仏に会うにはどうすればいいか。深い瞑想に入れば会えるとか、一心に

仏に会えない、仏の教えに直に接することができないという問題は未解決のままです。

「現在も生きている、他の世界の仏」という意味です。阿弥陀仏とか薬師仏あたりがよく知られています

仏の名前を唱えると会えるとか、さまざまな神秘的な方法が考え出されました。

### ★別の世界の仏たち

仏を求めて過去と未来へ、いわば時間に対する視野を広げた仏教者たちは、

次には空間を広げていくことになりました。

死というのも、ひとつの方法というか、仏に通じる

率天。葬式の出棺のとき、司会者が口にする「兜率の浄土へのお旅立ちです」という決まり文句は、兜率天

野を広げた仏教者たちは、次には空間を広げていくことになりました。

死は生物学的には生命の終焉でしょうが、肉体が滅んでも魂が生き続けるとし

この世界には、いまは仏はいないが、別の世界でなら、いまこの時も生きて教

の命を持つといわれます。羨ましいことに、阿弥陀仏のおおす世界には、無仏の

たら、そしてその魂が新しい

句は、兜率天

ら、いまこの時も生きて教

のおおす世界には、無仏の

たら、そしてその魂が新し

い肉体を持ってどこかの世界に生まれ変われるとしたら、この世で功徳を積み

ば、あるいは篤い信仰を持つてば、仏が住む世界に生まれ変わることが出来るかも知れない。死んで、阿弥陀仏のおわす浄土に生まれ変わりたいと願う浄土信仰などは、まさにこの方法です。

もうそうなら、生物としての死は、終末や断絶でなく、魂にとつてはひとつの通過地点に過ぎないし、また来世の魂の救済にもつながるわけで、そうなる、恐れの対象でしかなかった死が、前向きに位置づけられることになります。

中世の一向一揆は、「南無阿弥陀仏」の文字とともに、「進者極楽浄土 退者無間地獄」と記した旗を持って、権力に立ち向かったとされています。一向宗（浄土真宗）門徒たちは、

死ねば阿弥陀仏の浄土へ往生ができると思つたわけですから、この世で功徳を積み

ば、あるいは篤い信仰を持つてば、仏が住む世界に生まれ変わることが出来るかも知れない。死んで、阿弥陀仏のおわす浄土に生まれ変わりたいと願う浄土信仰などは、まさにこの方法です。

もうそうなら、生物としての死は、終末や断絶でなく、魂にとつてはひとつの通過地点に過ぎないし、また来世の魂の救済にもつながるわけで、そうなる、恐れの対象でしかなかった死が、前向きに位置づけられることになります。

中世の一向一揆は、「南無阿弥陀仏」の文字とともに、「進者極楽浄土 退者無間地獄」と記した旗を持って、権力に立ち向かったとされています。一向宗（浄土真宗）門徒たちは、

このような、さらなる仏教思想の進展・深化にともなつて、新たな仏も生まれ

ます。とくにお馴染みなのが毘盧遮那仏（奈良の大仏の本名です）で、この仏の別名が、大日如来。真言密教の中心尊で、あらゆる仏たちを包括する、真理そのもの、宇宙そのものであるとされています。ともあれ

こうして、仏はその数を増やしていきました。仏は決して釈迦ひとりではないと考え始めたあたりから、仏教は、人間釈迦の教えから、新たな地平へ踏み出していくことになりました。この新しく展開した仏教を大乘仏教と呼ぶこともあります。

6世紀に、中国から朝鮮半島を経て日本に伝えられたのは、この大乘仏教でした。多くの仏たちは、はじ

めからおわすものとして、日本にやってきたわけですから。



◆青葉祭 大師誕生会

あおばまつり たんじょうえ  
鳴門結衆の行事、今年の長谷寺の当番は、お大師さんの生誕法要。お釈迦さんの「花まつり」にあやかつてか、「青葉まつり」と呼ばれています。

写真

のように、花で飾つたお堂に稚児大師の



像を安置し、花を散らし、甘茶をかけます。

ところで、大師の誕生日とされる6月15日は、実は、お大師さんの師匠の師匠にあたる、不空三蔵という中国の唐時代の高僧の命日です。お大師さんは、この不空三蔵の生まれ変わりという伝説があり、後世になつてその命日を大師の誕生日としました。実際の誕生日は分かりません。

むろん、誕生日など分からなくても誕生日は祝えます。祝うのは誕生日で、誕生日を祝うわけではありませんからね。

寺長 発行 雑信 編集

〒772-0004 鳴門市撫養町木津 1037-1  
電話 088-686-2450  
ファクス 088-686-2130  
E-Mail cho\_kuma@mwb.biglobe.ne.jp  
URL http://www.chokokuji.jp/